

文字意識を高める書写指導のあり方

—— 意欲的に学ぶ書写学習を通して ——

1. 主題設定の理由

安房地域では、これまでに文字意識を高めるために様々な取り組みをしてきた。昨年度は、毛筆書写の入門期である3年生に目を向け、毛筆書写における基礎・基本の定着を意識し、基準を明確にした指導をすることで、文字意識を高めることができた。

本地域の児童は、文字を形よく書きたいという意欲はある。しかし、文字の組み立てについて調査してみると、大まかな組み立てはできていても、点画の形や幅等の細部に着目して書いている児童は少ない。また、高学年になると書写の時間は嫌いであるという児童は意外に多い。特に、毛筆書写は準備が面倒、汚れる等の理由から敬遠する児童もでてきている。

以上のことから、書写学習においては、基準を明確にするための手だてを工夫した指導を行い、毛筆にとらわれず目的に応じた用具を取り入れることで、意欲的に学ばせることができ、文字意識を高めることができると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

- 基準を明確にするための手だてを工夫すれば、文字を正しく書こうとする意識が高まるだろう。
- 目的に応じた用具を取り入れていけば、正しく書こうとする意欲を持たせることができるだろう。

3. 研究内容

- 基準を明確にするための手だてを工夫する。
- 目的に応じた用具を考え、書写学習の日常化を図る。

4. 結論

- 基準を明確にするための手だてを工夫したり、目的に応じた用具を選んで書かせたりすることで、意欲的に取り組むことができ、文字意識を高めることができた。